

情報公開文書

高リスク転移性前立腺癌に対する早期アピラテロンおよびドセタキセル治療の効果

【研究の二次利用についてのお知らせ】

あなたは書面同意のもとに秋田大学泌尿器科で行われている上記研究にご参加いただいております。この度、本研究のデータを、同様の患者さんを対象とした他国内で行われている四つの臨床研究と情報を統合し、治療の効果や転帰を解析することとなりました。

・データ二次利用の対象となる先行研究

研究番号 31-478(10060)

研究課題名 前立腺癌の予後予測因子の後ろ向き多施設共同観察研究

承認日 2020年04月14日

研究代表者 東京慈恵会医科大附属病院泌尿器科 教授 穎川晋

研究番号 2019-099

研究課題名 腎・泌尿器疾患に対する治療効果と治療後の状態・予後についての臨床研究

承認日 2020年03月13日

研究代表者 弘前大学附属病院 先端血液浄化療法学講座 准教授 畠山真吾

研究番号 ERB-C-1071-4

研究課題名 前立腺癌の薬物療法の有効性評価に関する検討

承認日 2018年01月15日

研究代表者 京都府立医科大学泌尿器科学教室 学内講師 上田崇

研究番号 R02-247

研究課題名 尿路性器癌治療における多施設後ろ向き研究

承認日 2021年09月17日

研究代表者：近畿大学医学部泌尿器科学教室 准教授 藤田和利

・主たる研究機関

秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座

東京慈恵会医科大附属病院泌尿器科

弘前大学医学部附属病院泌尿器科

京都府立医科大学泌尿器科学教室

近畿大学医学部泌尿器科学教室

・研究代表者

研究代表者

成田 伸太郎（秋田大学大学院医学系研究科 腎泌尿器科学講座）

住所 010-8543 秋田市本道 1-1-1

各試験の代表者

研究代表者 東京慈恵会医科大附属病院泌尿器科 教授 穎川晋
研究代表者 弘前大学附属病院 先端血液浄化療法学講座 准教授 畠山真吾
研究代表者 京都府立医科大学泌尿器科学教室 学内講師 上田崇
研究代表者 近畿大学医学部泌尿器科学教室 准教授 藤田和利

・共同研究機関

弘前大学医学部附属病院、秋田市立総合病院、秋田赤十字病院、秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター、由利組合総合病院、平鹿総合病院、能代厚生医療センター、岩手県立胆沢病院、市立横手病院

・研究の意義・目的

有転移前立腺癌で初期の内分泌療法の反応が悪く、予後不良と予想される症例群に、早期にアピラテロンもしくはドセタキセル治療を行うことで増悪、生命予後の改善が得られるかどうかを検証する。

・研究の方法

<対象となる患者さん>

組織学的に前立腺癌と診断され内分泌療法を予定している有転移無治療前立腺癌。2016年2月5日以降に本研究にご協力いただいた方。

<研究の方法>

各臨床試験で収集されたデータベースを統合し、臨床情報と副作用、疼痛スコア、症候性骨事象、QOL、PSA 増悪、および臨床増悪、予後の関連を検討する。

・研究期間

2016年2月5日から2026年1月31日まで

・個人情報の保護について

個人の情報を保護することは、刑法で定められた医師の義務です。解析を開始する前に、あなたの検体や診療情報からは住所、氏名などが削られ、代わりに新しく符号がつけられます（匿名化）。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、情報を取得した病院で個人情報の管理担当医が厳重に保管します。こうすることによって、あなたの情報の解析を行う者には符号しか分からず、誰の検体を解析しているの分かりません。共同研究機関とのデータ共有は、匿名化、ファイル暗号化された状態で電子的配信によって共有されるため、あなたと特定されたり、外部の人に情報がもれるようなことはありませんのでご安心ください。

情報管理者：秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科学講座

講師 沼倉一幸

・研究参加の辞退に関して

データが本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記のお問合せ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心

ください。

・本研究に関する問い合わせ

〒010-8543

秋田市本道 1-1-1 秋田大学大学院医学系研究科腎泌尿器科

成田伸太郎

TEL: 018-884-6156/ FAX: 018-836-2619